

**ビジネスを力強く支えるインクジェットプリンターの新シリーズ誕生
低ランニングコストと高生産性を両立した“GX7030/GX6030”**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したインクジェットプリンターにおいて、ビジネス向けの「GX シリーズ」を新たに展開し、新製品として、2段給紙カセットでファクス機能搭載の“GX7030”と、1段給紙カセットでコンパクトな“GX6030”のカラー複合機2機種を2021年5月中旬に発売します。



GX7030



GX6030

情報インフラの進化やクラウドサービスのグローバル規模での普及にともない、働く場所や働き方の多様化が急速に進んでいます。そのような中、オフィスや店舗、医療機関や学習塾など幅広いビジネス現場において、ビジネス文書や多様な制作物を、コストを抑えながら高画質に印刷できるプリンターに対するニーズが高まっています。キヤノンが新たに展開する「GX シリーズ」は、「GIGA TANK」搭載で低ランニングコストと高い生産性を実現し、多様な用紙やリモートプリントに対応するなど、ビジネスユースに適した豊富な機能を備えており、働く現場を力強くサポートします。

■ A4 モノクロ文書が約 0.8 円／ページで印刷できる低ランニングコストを実現

「GIGA TANK」の搭載により、インクコストはA4 モノクロ文書1ページあたり約0.8円^{※1}、A4 カラー文書1ページあたり約2.2円^{※1}を実現しています。また、ブラックインクボトル（別売り）1本分の容量でA4約9,000ページ^{※2}、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合はA4約21,000ページ^{※2}の大量印刷が可能です。メンテナンスカートリッジ（別売り）も自分で簡単に交換できるため、ダウンタイムを削減し、高い生産性を発揮します。

■ 全色顔料インクの採用やコンパクト設計などにより幅広いビジネスシーンで活躍

全色で新開発の顔料インクを採用しています。小さな文字や両面印刷でも鮮明で裏写りが少なく、印字部にマーカーを引いてもにじみにくい^{※3}ため、書き込むことの多いビジネス文書に適しています。窓付き封筒やポスター、ラベル紙などの多様な用紙にも対応し、1台でさまざまな制作物が印刷可能です。さらに、本体の横幅は従来のビジネス用インクジェットプリンターと比較してスリム化^{※4}を実現し、店舗のカウンターや受付内のデスクなど限られたスペースにも設置できます。

製品名	希望小売価格	発売日
GX7030/GX6030	オープン価格	2021年5月中旬

※1 普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」<一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定>に従い記載。測定環境の詳細は、キヤノンホームページ参照。
 ※2 エコノミーモード時。標準モード時はブラック約6,000ページ、カラー約14,000ページ。印字可能枚数は、A4 カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出。
 ※3 用紙やマーカーによってはにじむ場合があります。マーカーは印刷後5分程度経ってからの使用を推奨しています。
 ※4 収納時のサイズは“GX7030”は約399（幅）×410（奥行き）×314（高さ）mm。“GX6030”は約399（幅）×410（奥行き）×254（高さ）mm。「MAXIFY MB5430」（2016年10月発売）は約463（幅）×394（奥行き）×351（高さ）mm。

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター 050-555-90067
 ● ビジネスインクジェットプリンターホームページ：canon.jp/bij

<主な特長>

1. A4 モノクロ文書が約 0.8 円／ページで印刷できる低ランニングコストを実現

- ・特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.8 円、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円の低ランニングコストを実現。
- ・ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページと、「GIGA TANK」搭載モデルの中で最大枚数の印刷が可能。
- ・A4 モノクロ文書で毎分約 24.0 枚※、A4 カラー文書で毎分約 15.5 枚※の高速印刷を実現。オフィスでの大量印刷はもちろん、接客窓口や受付などの速やかな印刷が求められるビジネスシーンにも好適。
- ・メンテナンスカートリッジ（別売り）は本体背面からユーザー自身で交換可能。また、本体前面の窓からインク残量や用紙の積載状態を確認できるため、インクや用紙を事前に準備でき、突然のインク切れや用紙切れを防止。印刷停止時間を削減し、短いダウンタイムで印刷再開が可能。
- ・前面給紙カセットには A4 普通紙を最大 250 枚積載可能。前面給紙カセット 2 段の“GX7030”は最大 500 枚、1 段の“GX6030”は最大 250 枚の大量給紙が可能で、用紙補充の手間を低減。さらに、背面給紙トレイには A4 普通紙を最大 100 枚積載できるだけでなく、多様な用紙の給紙にも対応。
- ・最大 50 枚の A4 普通紙を積載可能な ADF（自動原稿送り装置）を搭載。“GX7030”は一度のスキャンで両面原稿を同時に読み取ることができ、スキャン時間短縮に貢献。



メンテナンスカートリッジは
本体背面からユーザー自身で
交換可能



大量給紙と多様な用紙への対応、スピーディーな原稿読み取りが可能

※ 普通紙への文書印刷速度は ISO/IEC 24734 のオフィスカテゴリーテストによる片面印刷 ESAT (Estimated Saturated Throughput) の平均値です。

2. 全色顔料インクの採用やコンパクト設計などにより幅広いビジネスシーンで活躍

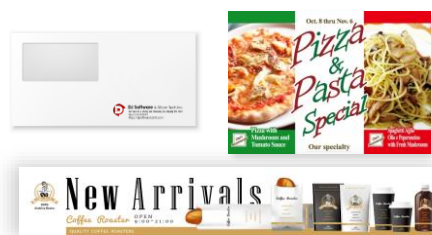
- ・全色で新開発の顔料インクを採用。小さな文字でもくっきりと印刷できるほか、両面印刷時にも印刷濃度を下げることなく裏写りの少ない鮮明な印刷が可能。さらに、印字部にマーカを引いてもにじみにくく、こすれにも強いいため、書き込みや保管することが多いビジネス文書に好適。
- ・本体の横幅は、従来のビジネス用インクジェットプリンターと比較してスリム化を実現し、店舗のカウンターや受付内のデスクなど限られたスペースにも設置可能。



“GX6030” 設置イメージ
(受付カウンター)

- ・多様な用紙に対応。ダイレクトメール用の窓付き封筒や店頭掲示用の光沢紙、長尺紙[※]のポスター、ラベル紙などのさまざまな制作物を1台で印刷可能。

※ 長尺紙の印刷は普通紙のみ。最大用紙サイズは約 216 (幅) × 1,200 (長さ) mm。



制作物イメージ

(左上：窓付き封筒／右上：光沢紙ポスター／下：長尺紙ポスター)

3. 環境負荷低減や業務効率化に貢献するさまざまな機能

- ・社内のイントラネット上にある書類をリモート環境で印刷できるサービスに対応^{※1}。仮想デスクトップ方式やリモートデスクトップ方式などの接続方式でも利用できるため、書類印刷のために出社したり、資料を印刷して持ち帰る必要がなく、必要な時に自宅やサテライトオフィスで簡単に印刷が可能。
- ・印刷工程の最後に熱による定着を必要としないインクジェット方式で印刷。消費電力が少なく^{※2}、環境負荷低減に貢献。
- ・“GX7030”と“GX6030”で共通の特大容量インクボトルを採用。両機種を複数台使用する場合でも、同じインクボトルを共有してインク補充が可能。廃棄物の削減に寄与するとともに、インクボトルの購入や在庫管理を効率化。
- ・インクボトルをインクタンクの注入口に挿すだけでインクの注入が始まり、満量になると自動的に注入が停止するため、簡単にインク補充が可能。また、インクボトルとインクタンクの注入口の接合部分に、色ごとに異なる形状を採用することで、誤った色のインク注入を防止。
- ・無料スマホアプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY^{※3}」を使うことで、スマホやタブレット内の文書をワイヤレスで印刷できるほか、スキャンした画像をスマホに保存することも可能。さらに、本アプリから「PIXUS クラウドリンク」を利用して、各種ストレージサービスやSNSなどと連携し、これらの汎用 (はんよう) クラウドサービス上の文書を印刷することも可能。
- ・プリンター本体の液晶画面トップに表示される機能は、ユーザーごとに任意に並べ替えが可能。また、使用機能もユーザーごとに設定できるため、業務に不要な機能の使用を制限^{※4}し、不正利用を防止することが可能。
- ・スキャンしたデータはプリンターから直接メールに添付して送信できるほか、事前に設定しておいた社内のイントラネット上のフォルダや USB メモリーに保存可能。さらに、“GX7030”は、受信したファクスデータを事前に設定しておいた社内のイントラネット上のフォルダ^{※5}に保存することもでき、データ共有が容易。
- ・「新しい生活様式」の実践を促すテンプレートやクリップアートを提供する PC 用ソフトウェア「PosterArtist Lite^{※3}」(無償) が利用可能。手洗いの促進やソーシャルディスタンス維持などの注意を喚起するポスターやチラシを簡単に作成可能。



インクの注ぎ過ぎを自動でストップ

※1 「PIXUS」のリモートプリントサービスに対応。事前に「Canon ID」の取得が必要。サービスの詳細は、<https://cweb.canon.jp/pixus/special/room/zaitaku/remote/> をご覧ください。

※2 動作 (コピー) 時の消費電力は“GX7030”は約 23 ワット、“GX6030”は約 21 ワット。待機 (スリープ) 時の消費電力は“GX7030”、“GX6030”ともに約 0.9 ワット。

※3 別途ダウンロードが必要。

※4 登録できるユーザーは最大 20 名。プリンター本体の液晶画面を使用する機能 (スキャンやファクス等) のみ制限可能。PC を使用した印刷は機能制限不可。

※5 ファクスデータの転送先は 1 か所のみ設定可能。

＜インクジェットプリンターの市場動向＞

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2020年の出荷台数は国内では約362万台、全世界では約5,852万台でした^{※1}。2021年の出荷台数については国内では約347万台、全世界では約5,752万台と見込まれています^{※2}。

※1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2020Q4

※2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker Forecast, 2020Q4

＜主な製品仕様＞

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* 記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。